



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 東都水産株式会社

コード番号 8038 URL <http://www.tohsui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 関本 吉成

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 江原 恒

TEL 03-3541-5468

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	30,822	0.8	△36	—	△24	—	39	△85.7
24年3月期第1四半期	30,579	△9.9	353	26.7	358	29.1	273	131.0

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 216百万円 (△47.7%) 24年3月期第1四半期 413百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	0.98	—
24年3月期第1四半期	6.87	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	26,658	9,274	34.8	233.00
24年3月期	28,081	9,177	32.7	230.57

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 9,274百万円 24年3月期 9,177百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	3.00	3.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	62,000	△1.5	370	△32.7	370	△34.6	430	△11.0	10.80
通期	129,000	△1.4	720	0.6	770	△2.4	650	148.6	16.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	40,260,000 株	24年3月期	40,260,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	454,429 株	24年3月期	453,718 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	39,805,926 株	24年3月期1Q	39,807,073 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 平成25年3月期の個別業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期 (累計)	45,000	0.8	△ 40	—	100	△ 67.9	2	51
通期	92,500	0.1	130	△ 65.1	270	—	6	78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景に一部で回復傾向が見られるものの、欧州債務問題や中国経済悪化など世界経済の先行き不透明感の影響を受け、将来に対する不安感が強まっております。

水産物卸売市場業界におきましては、消費者の低価格・節約志向の定着、市場外流通の増加、市場間競争の激化に加え、放射能汚染による出荷制限など、集荷・販売両面で苦戦する厳しい事業環境で推移しました。

このような状況のなか当社グループは、安全・安心でおいしい商品を消費者の皆様にご納得いただける価格でご提供できるよう、集荷・販売の強化に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、水産物卸売事業、冷蔵倉庫及びその関連事業において昨年実績を僅かに上回り、前年同期と比べ0.8%増加の30,822百万円となりました。しかし、売上総利益率の低下及び貸倒引当金繰入額の増加により、人件費及び販売諸経費等の削減に努めましたものの、営業損失36百万円（前年同期営業利益353百万円）、経常損失24百万円（前年同期経常利益358百万円）となりました。特別利益として「東京都市計画道路幹線街路環状第2号線」建設事業に関する受取補償金195百万円を計上しました結果、四半期純利益は前年同期と比べ85.7%減少の39百万円となりました。

セグメントの業績概況は次の通りであります。

#### ① 水産物卸売事業

水産物卸売事業につきましては、売上単価が下落したものの取扱数量が増加したため、売上高は前年同期と比べ0.8%増加の28,712百万円となりました。利益面では売上総利益率が低下し、貸倒引当金繰入額の増加がありましたため、販売諸経費等の削減に努めましたが、営業損失257百万円（前年同期営業利益33百万円）となりました。

#### ② 冷蔵倉庫及びその関連事業

冷蔵倉庫及びその関連事業につきましては、売上高は前年同期と比べ0.6%増加の1,947百万円となりました。利益面では売上総利益率が低下したため、人件費及び販売諸経費の削減に努めましたが、これを補うことができず、営業利益は前年同期と比べ40.3%減少の161百万円となりました。

#### ③ 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、管理物件の稼働率向上に努めましたが、売上高は前年同期と比べ6.1%減少の162百万円となりました。賃貸原価の削減に努めましたが、営業利益は前年同期と比べ3.6%増加の66百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ1,423百万円減少し、26,658百万円となりました。流動資産は1,661百万円減少し、18,279百万円となりました。主な要因は、商品及び製品が1,083百万円、現金及び預金が261百万円、受取手形及び売掛金が225百万円減少したことによるものです。固定資産は238百万円増加し、8,379百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ1,520百万円減少し、17,383百万円となりました。流動負債は1,265百万円減少し、11,949百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が1,016百万円、短期借入金が298百万円減少したことによるものです。固定負債は254百万円減少し、5,434百万円となりました。主な要因は、長期借入金が238百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ96百万円増加し、9,274百万円となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の32.7%から34.8%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、第1四半期連結累計期間までの業績の進捗状況等を勘案し、平成24年5月14日に発表しました平成25年3月期の連結業績予想を修正しました。

業績予想の修正内容につきましては、本日別途発表しました「業績予想の修正及び特別利益の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,472	4,210
受取手形及び売掛金	8,070	7,845
商品及び製品	7,463	6,379
仕掛品	44	41
原材料及び貯蔵品	240	281
その他	764	690
貸倒引当金	△1,114	△1,169
流動資産合計	19,940	18,279
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,578	3,587
その他(純額)	2,659	2,701
有形固定資産合計	6,237	6,289
無形固定資産	518	546
投資その他の資産		
破産更生債権等	2,643	2,794
その他	1,230	1,376
貸倒引当金	△2,489	△2,627
投資その他の資産合計	1,384	1,543
固定資産合計	8,141	8,379
資産合計	28,081	26,658
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,419	3,402
短期借入金	7,612	7,313
未払法人税等	121	95
賞与引当金	64	154
その他	995	982
流動負債合計	13,214	11,949
固定負債		
長期借入金	2,646	2,408
退職給付引当金	1,569	1,535
資産除去債務	83	84
その他	1,389	1,406
固定負債合計	5,689	5,434
負債合計	18,903	17,383

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,376	2,376
資本剰余金	1,017	1,017
利益剰余金	5,907	5,826
自己株式	△60	△60
株主資本合計	9,240	9,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	△12
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	329	329
為替換算調整勘定	△425	△202
その他の包括利益累計額合計	△62	114
純資産合計	9,177	9,274
負債純資産合計	28,081	26,658

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	30,579	30,822
売上原価	28,668	29,184
売上総利益	1,910	1,638
販売費及び一般管理費	1,556	1,674
営業利益又は営業損失(△)	353	△36
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	26	25
通貨スワップ評価益	14	47
その他	13	25
営業外収益合計	60	104
営業外費用		
支払利息	19	22
為替差損	31	36
和解金	—	20
その他	3	13
営業外費用合計	54	92
経常利益又は経常損失(△)	358	△24
特別利益		
受取補償金	—	195
特別利益合計	—	195
税金等調整前四半期純利益	358	171
法人税、住民税及び事業税	101	128
法人税等調整額	△15	3
法人税等合計	85	131
少数株主損益調整前四半期純利益	273	39
四半期純利益	273	39

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	273	39
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	△46
繰延ヘッジ損益	1	0
土地再評価差額金	△10	—
為替換算調整勘定	134	222
その他の包括利益合計	139	176
四半期包括利益	413	216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	413	216
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物卸 売事業	冷蔵倉庫 及びその 関連事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,471	1,934	172	30,579	—	30,579
セグメント間の内部売上高 又は振替高	171	849	28	1,050	(1,050)	—
計	28,643	2,784	201	31,629	(1,050)	30,579
セグメント利益	33	270	64	368	(15)	353

(注)1. セグメント利益の調整額△15百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等であり  
ます。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物卸 売事業	冷蔵倉庫 及びその 関連事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,712	1,947	162	30,822	—	30,822
セグメント間の内部売上高 又は振替高	185	609	28	823	(823)	—
計	28,898	2,557	190	31,646	(823)	30,822
セグメント利益又は損失(△)	△257	161	66	△28	(7)	△36

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△7百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調  
整額等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。